

2月20日(水) 本年度第31回(通算2670回) 12時30分～ 釧路プリンスホテル

『RI創立記念アクト合同例会』

担当/理事会・新世代委員会

☆お客様と来訪ロータリアン

・ 畠山 優那君、中村 理恵子君、菊池 吉史君、小甲 薫君、川口 翼君(釧路北RAC)

☆出席報告【会員総数63名 免除7名 出席計算に用いた会員数63名】

本日の出席者 29名 46%

☆ニコニコ献金

- ・高橋 貢君 ～ 本日の講演、松原パスト会長よろしくお祈いします。
- ・小林 裕幸君 ～ 本日も例会よろしくお祈いします。
- ・北山 幸徳君 ～ 本日、誕生日です。
- ・富樫 孝之君 ～ 結婚記念日、花束ありがとうございました。
- ・大友 淳君 ～ 32年たってしまいました。
- ・小山 義雄君 ～ 皆様にお世話になりました。
- ・小野寺 英夫君 ～ 創立記念日おめでとうございします。
- ・中島谷 友一朗君 ～ 女子アイスホッケー、おかげさまでオリンピック出場です。
- ・萩原 昭博君 ～ 松原パスト会長、本日講話よろしくお祈いします。
- ・松田 信明君 ～ しばらく、ご無沙汰してお祈います。
- ・中嶋 嘉昭君 ～ 創立記念日、おめでとうございします。
- ・坂入 信行君 ～ アクトの皆さん昼例会ご苦勞様です。

☆会長挨拶☆ 《萩原副会長》



皆様こんにちは。本日は高橋会長所用の為欠席しておりますので、私からご挨拶致します。

今日は、RI創立記念アクトの皆様との合同例会であります。通年、RI創立記念例会は、夜間例会となっておりますが、今年度は、昼例会となりました。

皆様ご承知の通り、1905年ポールハリスと3人の友人がシカゴで初めて会合を開いた日、2月23日をロータリーの創立記念日としております。現在世界では201カ国121万人、日本では2305クラブ9万5000人近い会員が、田中作次RI会長がかかげられた奉仕を通じて世界平和に向けて活動しております。

今日は先輩でもあります、松原パスト会長に講話をお願いしております。アクトの皆様と一緒にロータリーについて学び理解していく創立記念例会にしたいと思ひます。松原パスト会長後ほど宜しくお祈い致します。

☆幹事報告☆ 《小林幹事》



- ① 本日の回覧について、2月例会プログラムと11月、12月の月報が中標津ロータリークラブより届いております。
- ② 3月16日に開催されます第7分区のIMですが出欠の返信が2月25日月曜日となっております、まだ 返信されていない会員の方は返信をお願いいたします。
- ③ 例会プログラムの変更について、3月27日の例会ですが新世代委員会担当の「釧路動物園にキリンを・・・」となっておりますが、昨年11月28日に基金贈呈式終了しておりますので、社会奉仕委員会担当の釧路市長、蝦名大也様の講演に変更いたします。



小野寺会長エレクトによる乾杯

世界最初のロータリークラブ、シカゴロータリークラブの第1回例会日が国際ロータリーの創立記念日、これに始まるロータリークラブのおかげで、私たちは人との出会いの場をいただき、人生の先輩、また、釧路北ロータリーアクトクラブの皆様とも出会った訳であります。このロータリークラブに感謝し国際ロータリーの創立記念をお祝いします。



「ロータリー創立記念に思う」

松原 久幸 パスト会長

①ロータリークラブ創立の動機

RCの始祖ポール・ハリスが大都会シカゴの生活の中で何か満たされないもの、淋しさ、孤独感、疎外感を解消する為に、政治、宗教の制約なしに、お互いの寛容の精神で集う親睦を目的とした組織が出来ないものか。

②シカゴRCの創立

クラブは、庶民を中心とした中小零細業者も、過当競争を避ける為に、一業種一会員とし、親睦と相互扶助を目的とした綱領に基づいて結成された。

③入会拒否事件

二代目会長アル・ホワイトの友人ドナルト・カーターは、初期の綱領をみて、会員の相互扶助、互惠主義はクラブ会員の利益交換に過ぎず、社会的意義に欠け、クラブの将来性がない、として入会を拒否した。そのため、ポール・ハリスは、クラブ綱領に第三条、「シカゴ市の利益を推進し、市民の中に市に対する誇りと忠誠の精神を普及すること」。を附記し、RCの中に社会的役割を明示することに依って全米各地にロータリー設立の気運が高まっていく。

④肥大化するシカゴRC

会員の相互扶助、互惠主義により、シカゴRCの会員は経済的にも社会的にも地域の支柱をなすように成長し、会員数も300名を越す大クラブに発展する。クラブ内に、親睦派、奉仕派に分かれて対立し始める。6代目会長選出は両派の間で激しい争いが続き、結局、選挙によって親睦派のラムジーが当選、チェスリー・ペリーが敗れる。

⑤全米RC連合会への動き

選挙に敗れたペリーは、RC拡大に向けて活動を転換し、全米各地にRCの設立を働きかける。全米各地の協力者を得て、全米で、16RCが誕生した時、全米ロータリークラブ連合会を結成して、初代会長にポール・ハリスを選出する。（1910年）

⑥国際ロータリーの誕生

1910年に発足した全米ロータリークラブ連合会と同じ年にカナダのウイニペグにRCが誕生、次いで1911年、イギリスにロンドンRCが、その他アイルランド始め、ヨーロッパ各地へと進展し、その後、キューバのハバナを始め世界各地に拡大していき、全米ロータリークラブ連合会の1912年の第3回大会から国際ロータリークラブ連合会の大会に名称変更になり、初代会長にグレン・ミード、事務総長チェスリー・ペリーを選出、今日のRI、国際大会へと進展することになる。

⑦初期ロータリーは庶民の中から生まれた。

RCは会員間の相互扶助と親睦から生まれたが、外形は庶民であっても、心の正直さ、友愛、愛国心、人類愛は超一流の人物を目差して会員相互が切磋琢磨して努力し続けた。ロータリーの職業奉仕も一日にして出来たものではなく、会員の暗中模索の経験と反省の中から生まれたもの。会員が、ロータリーとは何かを、ひたすら見つめつけ、「自己の良心に忠実」であることを努力し続けた点を見逃してはならない。